

ハンドトラスト株式会社

事業継続計画

令和6年5月24日 作成

令和 年 月 日 改訂（第 版）

— 目 次 —

【様式1】 BCPの基本方針.....	1
1. 目的.....	1
2. 基本方針.....	1
3. 重要商品.....	1
【様式2】 被害想定.....	2
【様式3】 重要商品提供のための対策.....	3
4. 事前対策の検討.....	3
【様式4】 緊急時の体制.....	5
5. 緊急時の統括責任者.....	5
【様式5】 BCPの運用.....	6
6. BCPの定着.....	6
7. BCPの見直し.....	6

【様式1】 BCP の基本方針

1. 目的

本計画は、緊急事態（地震の発生等）においても、従業員及びその家族の安全を確保しながら自社の事業を継続することを目的として策定したものである。

2. 基本方針

当社は、以下の基本方針に基づき、緊急時における事業継続に向けた対応を行う。

チェック	基本方針
<input checked="" type="checkbox"/>	人命（従業員・顧客）の安全を守る
<input checked="" type="checkbox"/>	自社の経営を維持する
<input checked="" type="checkbox"/>	顧客からの信用を守る
<input checked="" type="checkbox"/>	供給責任を果たし、従業員の雇用を守る
<input checked="" type="checkbox"/>	地域経済の活力を守る
<input type="checkbox"/>	

3. 重要商品

緊急時においても、自社で優先的に継続もしくは復旧させる商品・サービス（以下、重要商品という）は、以下のとおりである。

重要商品名
ナブテスコ株式会社岐阜工場向け、製品試験機。 製品試験機を重要商品として考える理由は、信頼関係を継続する為である。取引先とは、業務を受託している企業、業務を委託している企業の双方が含まれる。現状における取引先からの信頼喪失は、業務の点中を意味し、その点中先は海外（特に中国）の可能性が高く、自社の事業活動の継続は重要。

【様式2】 被害想定

本計画における緊急時の被害状況を以下のとおり想定する。

大規模地震（震度 5 弱以上）で想定される影響

インフラへの影響

ライフライン



- 停電が発生し、水道とガスが停止する。
- その後、電気、水道、ガスの順番で復旧する。

利用の可否：×

情報通信



- 電話やインターネット等が発生直後は、つながらなくなる。
- その後、ケーブル断線の復旧等により、順次復旧する。

利用の可否：×

道路



- 一部の道路が通行規制となる。
- その他の道路で、渋滞が発生する。

利用の可否：△

鉄道



- 発生直後は、鉄道の運行が完全に停止する。
- その後、被害の少ない地域から順次再開する。

利用の可否：×

あなたの会社への影響

人



- 設備・什器類の移動・転倒、耐震性の低い建物の倒壊、津波の発生等により、一部の従業員が負傷する。
- 従業員やその家族の負傷、交通機関の停止等により、一部の従業員が出勤できなくなる。

情報



- パソコン等の機器類が破損する。
- 重要な書類・データ(顧客管理簿、仕入先管理簿、商品の設計図 等)が復旧できなくなる。

物



- 工場・店舗等が、大破・倒壊・浸水する。
- 固定していない設備・什器類が移動・転倒する。
- 商品・備品類が落下・破損する。
- 仕入先の被災により、部品や原材料等が調達できずに、商品の生産・販売ができなくなる。

金

- 工場の生産停止や従業員の出勤率の低下により事業が停止してしまい、その間の売上がなくなる。
- 会社の運転資金(従業員の給与、賃借料等)と建物・設備等の復旧のための資金が必要となる。



【様式3】 重要商品提供のための対策

4. 事前対策の検討

重要商品を提供するための事前対策は以下のとおりである。

重要商品	ナブテスコ株式会社岐阜工場向け、製品試験機
------	-----------------------

経営資源(人)への事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
従業員の安否確認ルール の決定や安否確認手段の確保 を行っているか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
緊急時に必要な従業員が 出社できない場合に、代行でき る従業員を育成しているか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる？	誰がやる？	いつやる？
携帯電話を用いた緊急連絡網により安否確認を実施。 【主要な連絡先】 栗屋野社長:090-3817-4129	各人	営業日 2日以内
連絡網を通し、顧客へ事情連絡を行う。	各人	営業日 2日以内 (目標)

経営資源(物)への事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
什器や棚等、設備を固定して いるか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
原材料の代替調達や代替生 産等、業務を代替して行う手 段を確保しているか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる？	誰がやる？	いつやる？
重要商品に係わる什器・設備を優先的に固定している	社長	実施済み
主要購入品の代替型式をリスト化(見積時等)に実施)	社長	見積時

経営資源(情報)への事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
重要なデータを特別に保管(バックアップ、耐火金庫等)しているか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
緊急時に取引先等へ情報を発信、取引先等の情報を収集する手段を整備しているか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる?	誰がやる?	いつやる?
クラウドを利用し、サーバー管理を実施している。	各人	都度
取引先の担当者連絡先リスト(会社、携帯電話番号、メールアドレス)を作成している。	各人	実施済み

経営資源(金)への事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
操業が停止した場合に、必要な運転資金を把握しているか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
緊急時に運転資金として活用できる現金・預金を準備しているか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる?	誰がやる?	いつやる?
1ヵ月事業が停止した場合に必要なと成る資金として、5百万円としている。	社長	実施済み
5百万円の預金と5百万円の現金を積み立てる。	社長	今年度中

その他の事前対策

【ステップ1】事前対策の実施状況の把握	
取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めているか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
公的融資制度の情報を収集する手段を準備しているか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

【ステップ2】事前対策の検討・実施		
何をやる?	誰がやる?	いつやる?
協力会社と被災時の応援要員に関する協定を結ぶ。	社長	来年度中
中小企業庁や金融機関のホームページアドレスを一覧として取りまとめている 中小企業庁: http://www.chusho.meti.go.jp/	社長	実施済み

【様式4】 緊急時の体制

5. 緊急時の統括責任者

地震等の災害発生により、緊急事態となった際の統括責任者及び代理責任者は以下のとおりとする。

統括責任者の役割	統括責任者	代理責任者 ①	代理責任者 ②
■全社の対応に関する重要な意思決定及び指揮命令	社長	技術部長	

統括責任者が意思決定及び指揮命令すべき全社の対応の例

緊急
事態

当日～（初動対応）

対応内容例	連携
■従業員・お客様の避難	○
■従業員・お客様の安否確認	—
■被災した従業員・お客様対応	○
■初期消火	○
■地域への対応	○
（瓦礫処理による避難経路確保）等	

数日～（復旧に向けた対応）

対応内容例	連携
■重要商品の提供（・休止）	—
■各種取引先との連絡調整	—
■行政・業界団体への対応	○
■対外への情報発信	—
■資金の確保	—
等	

○の項目は、企業同士が連携（共助）することで、効果的となる場合が考えられるもの

【様式5】 BCP の運用

6. BCP の定着

BCP の重要性や進捗状況等を社内に周知するため、定期的に従業員に対して、以下の教育を実施する。

教育計画		
誰が？	何をする？	いつ？もしくはどのくらいの頻度で？
経営者	従業員に対して、BCP の進捗状況や問題点を説明する	毎年1回
経営者	BCP のポイントに関する社内研修会を開催する	毎年1回

7. BCP の見直し

BCP の実効性を確保するため、以下の基準に基づき BCP の見直しを行う。

BCP を見直す基準
■ 日頃の顧客管理、在庫管理、仕入先管理の結果に大幅な変更があった場合、商品・サービスの変更・追加、生産ラインの組み替え、人事異動等があった場合は、BCP を見直す必要があるか検討を行い、その必要があれば即座にその変更を BCP に反映する
■ 毎年 1 回以上、事前対策の進捗状況や問題点をチェックし、必要に応じて BCP を見直す